



# 千葉大学医学部ヨット部報

Vol.33 平成30年度 1月吉日

## 《はじめに》



新春の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の東医体は主管校であったことに加えて、6年ぶりとなる悲願の優勝を果たすことが出来ました。さらには、関東医科歯科体におきましても2連覇を果たし、部員一同とても充実した夏となりました。

夏の東医体後には代替わりをし、東医体・医科歯科を連覇すべく、部員一同気を引き締めて秋練に臨み、現在はオフ期間となっております。

今回の部報は、夏の東医体、医科歯科の結果を中心にお届け致します。

## 《東医体レース結果》

今年度の東医体はレース艇が4艇、レースメンバーが9人で戦いました。新歓後の5月中旬には江ノ島に艇を移し、稲毛とは異なる江ノ島の風に慣れ、主にボートスピードを上げるための練習を行いました。さらに6月上旬にはアテネオリンピックのメダリストでもある関 一人さんにコーチを依頼し、練習方法やハンドリング、座学に至るまで様々な事をご指導して頂き、非常に充実した練習となりました。6月下旬から7月には多くの艇が出場する大会やフリートレースに参加したり、他大学との合同練習を行うなどして、レースにおける実戦経験も積み、万全の状態ですべてのレースに臨むことが出来ました。

今年度は千葉大学が東医体の主管校を務め、例年とは異なる状況の中で部員がお互いに協力し合い、またOBの先生方にもご協力頂き、無事に大会を開催することが出来ました。

今年度の東医体は以下の日程で開催されました。

8/1 東医体プレレース

8/2 開会式・女子戦(全2レース)

8/3～8/5 東医体本戦(全8レース)

8/5の東医体最終日には表彰式・閉会式も行われまし

た。



↑レース出艇前の円陣の様子

レースメンバーの士気も一層高まります

東医体の結果は以下の様になりました。

## 団体戦

優勝 千葉大学 58 9/4pt

準優勝 順天堂大学 69 6/4pt

3位 慶応義塾大学 95pt

4位 筑波大学 125pt

5位 横浜市立大学 154pt

6位 東邦大学 166pt



←東医体レースメンバー  
表彰式後、ハーバーの屋上  
にて  
優勝杯も6年振りに千葉  
大の元へ帰ってきました

個人戦第3位

JPN4486 左から  
凌・小関・逢坂ペア



## 個人戦

個人戦優勝 JPN4581 林・埴ペア

優勝 JPN4581 skipper 林 亮佑 crew 埴 夕稀子 17 3/4pt

第3位 JPN4486 skipper 凌 将登

crew 逢坂 太郎・小関 遥 40 3/4pt

第10位 JPN4413 skipper 和田 七海 crew 渡邊 怜 73 3/4pt

skipper 高橋 誠志郎 crew 鶴梶 真衣

JPN4305 高橋・鶴梶ペア



## 女子戦

準優勝 JPN4413 skipper 和田 七海 crew 渡邊 怜

第3位 JPN4224 skipper 八木 はるか

crew 川島 泰世・菅波 創太郎



女子戦準優勝 JPN4413 和田・渡邊ペア

前回主管校を務め、優勝杯を手にしてから6年経った今年、6年振りの主管校優勝という期待が高まる中、東医体本番を迎えました。

1日目、軽風から順風のコンディションの中、南風で3レースが行われました。1、2レース目は順天堂大学に差を付けられ、苦しい展開となっていました。3レース目では3艇が3位、4位、6位でフィニッシュし、会心の走りを見せました。

2日目も1日目に引き続き軽風、順風でのレースとなりました。南風ですが風の振れやすいコンディションでしたが、チームプレーを発揮し順天堂大学を押さえて2日目終了後には団体戦、個人戦共に千葉大学が首位で終わることが出来ました。この日、第5レース目では千葉大学で順天堂大学、横浜市立大学を協力してカバーし、JPN4413、JPN4581が1、2フィニッシュするなど胸の熱くなる展開が多々見られました。

ですが、2日目終了時点で、第2位の順天堂大学とのポイント差は約5ポイント、逆転されてしまう可能性も大にあるというそんな緊張した状況下で迎えた3日目はどの船もオーバーパワー、ピンダウンを行う程の強風の中2レースが行われました。第7レース目ではJPN4486がトラブルによりリタイアになってしまうハプニングが起きました。しかし最終レースとなる第8レース目ではそれを挽回するかのようになり、JPN4486はピンでフィニッシュ、次にフィニッシュしたJPN4581も5位とリザルトをまとめ、6年ぶりの優勝を果たすことが出来ました。



優勝後のビールかけ

主管校であった今年度の東医体、予定していた全8レースが行われ、大会を無事に終わることが出来たことはレースメンバーだけでなく、東医体の運営で忙しいながらもいつも全力でレースメンバーを支え、応援してくれた6年生、医科歯科レースメンバ

↓最終日の漁船の様子  
今年も多くのOBの先生方が来て下さいました！  
応援、有り難うございました

ーの4年生と2年生、そして入部して間もないながらも一生懸命仕事をしてくれた1年生のおかげであると感じています。

そして、いま千葉大学医学部ヨット部に多くの部員が在籍し、船の数も多く、恵まれた環境で練習できていることは紛れもなく日頃からご支援を頂いているOBの先生方の御陰です。部員一同、心から感謝申し上げます。



今回の結果に甘んじること無く、部員一同、気を引き締めて来年の東医体連覇に向けて練習に励んで参ります。来年もまた数多くのOB・OGの先生方に応援に来て頂けるような活気あふれる部活になるよう、精一杯頑張りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

# 5年間を振り返って

千葉大学医学部ヨット部 平成30年度キャプテン 和田 七海

今年の東医体は、微風からサバイバルコンディションまでの全風域で最大レース数である8レース行われ、結果は、6年ぶりそして念願の団体戦・個人戦優勝を果たすことができました。たくさんのご支援、ご声援をくださったOB・OGの皆様にも、御礼申し上げたいと思います。

ここに来るまでの5年間は、自分にとって楽しいだけのものでは決してありませんでした。幾度となく話し合い、ぶつかり合い、大切なものも何度も失いました。

自分の至らなさや弱さから、最後の最後までたくさんの迷惑をかけてしまっていたと思いますし、自分自身は、かつて先輩方がそうであったように、東医体を終え、5年間を終える時にヨット部のことを本当に好きでいられるのかという不安がずっとありました。

ですが、東医体直前になっていただいた、たくさんの暖かいお言葉、思いのこもった熱い言葉からは、たかが言葉とは侮れないほど、自分に、自分達に、大きな力を与えてくれました。

そして、最後の1年間は何よりも辛く、その反面、最高に楽しい時間だったように思います。そんな風を感じる事ができたのはいつも支えてくれた人達の支えがあったことです。そして、自分は、チームとして全員が納得のいく走りをして優勝することを目指すことができ、さらにはそれを達成し、優勝を果たすことができました。

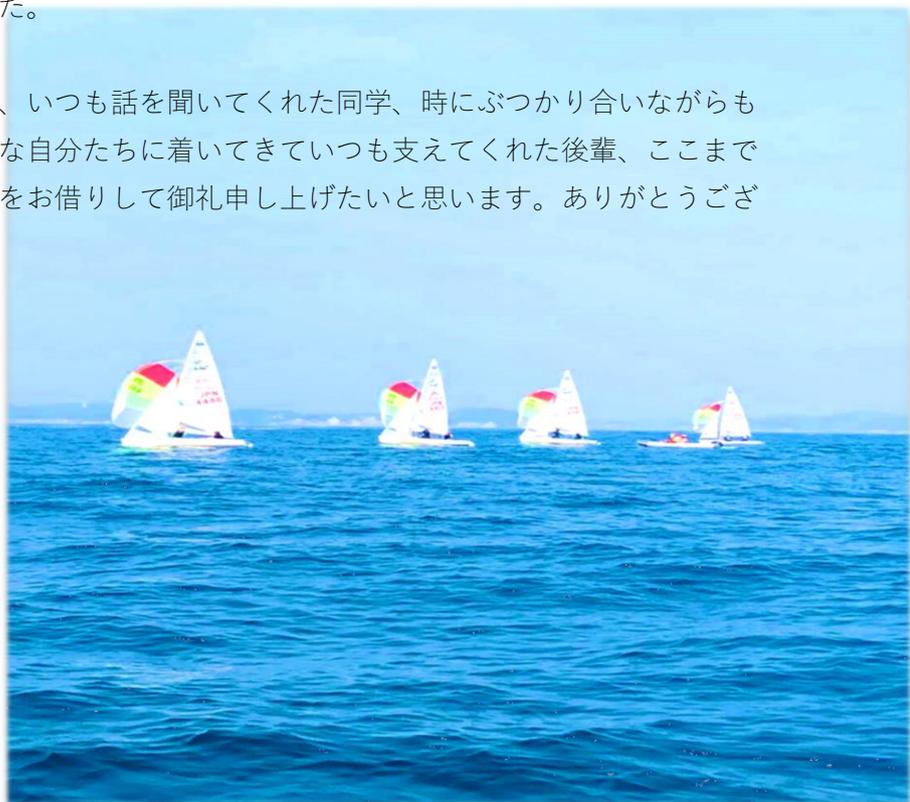
長かったこれまでの道のり、東医体3日間最後まで競い合い全員で優勝を勝ち取った瞬間、仲が良いとは言えなかった自分たちの学年が互いに感謝の言葉を述べ、抱き合って泣いたこと、海で応援してくれている人たちの声、涙を流し喜んでくれた人たちのこと、そのすべてが、この先決して色褪せることのない思い出です。

誰か一人でも欠けていたとしたら、なし得ることができなかつた結果だと断言できます。

自分がここまで来ることができたのも、支えてくださったみなさまのおかげです。こんなにも言葉に励まされ、その力を感じたことはありませんでした。

自分たちの成長を見守ってきてくれた先輩方、いつも話を聞いてくれた同学、時にぶつかり合いながらも競い合い共に成長してきた同学、そしてこんな自分たちに着いてきていつも支えてくれた後輩、ここまで一緒に乗り越えてきた、全ての方に、この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

そして、最後の一年は、コーチとして後輩達への恩返しをしていきたいと思います。今回の優勝が、多くの人の支えがあって成し遂げられたように、新たな一年も、十分な実力と、それを出し切る力を備えて東医体二連覇に向けて取り組みたいと思います。



# 《医科歯科結果報告》

## 団体戦

優勝 千葉大学 28 6/4pt

準優勝 順天堂大学 56pt

第3位 筑波大学 88pt

第4位 東邦大学 107pt

第5位 横浜市立大学 108pt

第6位 東北大学 125pt

今年度の医科歯科は台風の影響のため、出来るだけレース数をこなすべく、プレレースなどは省略され、日程を前倒しにして1日目の4レースのみが実施されました。医科歯科レースメンバーは東医体の運営後、プレレースがなかったためいきなり本番という形でのレースとなりましたが、そのようなことを感じさせない見事な走りを披露しました。特にJPN4581の辻本・浜辺ペアは4レース中3レースでピンを取るといふ、周囲を圧倒する走りを見せ、見事個人戦も優勝に輝きました。また、JPN4486の榎並・森田ペアが3位、JPN4413八木・川島・菅波ペアが5位、JPN4465村田・岡本ペアが6位にランクインするなど、大学としてもまとまった走りを見せ、準優勝の順天堂大学を大きく引き離して見事2年連続の医科歯科連覇となりました



個人戦優勝  
JPN4581 辻本・浜辺ペア  
(左写真)

←表彰式終了後 医科歯科レースメンバーの集合写真  
医科歯科は2年連続の優勝となりました！



個人戦第3位  
JPN4486 榎並・森田ペア  
(上写真)

## 個人戦

優勝 JPN4581 skipper 辻本 慈瑛 crew 浜辺 美波 2・4/9pt

第3位 JPN4486 skipper 榎並 奏 crew 森田 夏希 16pt

第5位 JPN4413 skipper 八木 はるか crew 川島 泰世・菅波 創太郎 23pt

第6位 JPN4465 skipper 村田 桜子 crew 岡本 和也 26pt

第18位 JPN4305 skipper 志村 和佳 crew 片山 仁志 67pt

# 東医体リザルト表

## 1 日目

	第1レース				第2レース				第3レース			
	着順	順位	個人得点	団体得点	着順	順位	個人得点	団体得点	着順	順位	個人得点	団体得点
JPN4581	4	DSQ	36	24	2	2	2	12	3	3	3	7
JPN4486	3	3	3		10	10	10		4	4	4	
JPN4413	22	21	21		23	OCS	28		6	6	6	
風速	ave:8knot/max:10knot				ave:10knot/max:12knot				ave:5.6knot/max:6.4knot			

## 2 日目

	第4レース				第5レース				第6レース			
	着順	順位	個人得点	団体得点	着順	順位	個人得点	団体得点	着順	順位	個人得点	団体得点
JPN4581	1	1	3/4	7 3/4	2	2	2	2 3/4	3	3	3	10
JPN4486	7	7	7		8	8	8		8	8	8	
JPN4413	9	9	9		1	1	3/4		7	7	7	
風速	ave:6knot/max:7knot				ave:9knot/max:10knot				ave:9knot/max:10knot			

## 3 日目

	第7レース				第8レース			
	着順	順位	個人得点	団体得点	着順	順位	個人得点	団体得点
JPN4581	2	2	2	15	5	5	5	5 3/4
JPN4486	RET	36	36		1	1	3/4	
JPN4413	13	13	13		17	17	17	
風速	ave:14knot/max:16knot				ave:16knot/max:18knot			

# 医科歯科リザルト表

	第1レース目				第2レース目				第3レース目				第4レース目			
	着順	順位	個人得点	団体得点	着順	順位	個人得点	団体得点	着順	順位	個人得点	団体得点	着順	順位	個人得点	団体得点
JPN4581	1	1	3/4	5 3/4	1	1	3/4	7 3/4	2	2	2	6	1	1	3/4	10
JPN4486	8	8	8		2	2	2		4	4	4		2	2	2	
JPN4413	5	5	5		5	5	5		7	7	7		6	6	6	
JPN4465	6	6	6		7	7	7		5	5	5		8	8	8	
JPN4305	11	11	11		22	22	22		8	8	8		26	26	26	
風速	ave:5knot/max:6knot				ave:6knot/max:8knot				ave:8knot/max:9knot				ave:4knot/max:5knot			

## Facebook につきまして

昨年に引き続きまして、私たちの活動状況・レース結果などについて、Facebook に掲載しております。日ごろの活動の様子が良く分かれると、多くのOBの先生方にご好評をいただいております。

アカウント名 "千葉大学医学部ヨット部"  
アドレス [www.facebook.com/chibamedyacht](http://www.facebook.com/chibamedyacht)

Facebookのアカウントをお持ちでない場合も、Webで上記URLを検索していただくとページをご覧いただけます。アカウントをお持ちでしたら、ページ内の「いいね！」を押していただくと、ページの新情報をすぐにチェックできるようになります。たくさんの「いいね！」をお待ちしております！お時間のある際には、是非ご覧ください。



## メールリスト作成につきまして

現在、上記のようにfacebookで活動報告などをさせていただいておりますが、OBの先生方に活動の報告を迅速にお送りするために去年に引き続きメールリストにて、イベントの日程が決定した際のご連絡やfacebookの更新のご連絡、などに使わせて頂いております。

ご意見がございましたら、お手数ですが、3年主務 埴までお聞かせいただけますと幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

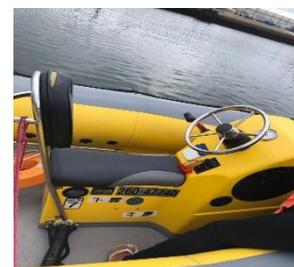
千葉大学医学部ヨット部主務 埴 夕稀子

メールアドレス：[yukiko.hanawa64@gmail.com](mailto:yukiko.hanawa64@gmail.com)

## 新しいテンダーの購入につきまして

現在ヨット部では今年度の東医体・医科歯科で得られた資金や今までの貯金等を使い、安全性も考慮して新しいテンダーの購入を考えております。

新しく購入する予定のテンダーはxs ribs coach 545という型で、以前まで使用していたテンダーよりも馬力が高く、スピードも出るため強風時でもより安全に練習を進められると考え、購入を決定致しました。現在はHIK OFFICEにて塗装のはげ等の修復を行って頂いており、練習に導入するのは2月末の春合宿からを想定しております。OBの先生方にもお時間のある際には是非稲毛ヨットハーバーに足を運んで頂き、テンダーをご覧になって頂けたらと存じております。



↑ 運転席の様子  
今までよりさらに運転のしやすいハンドル型です

## あとがき

今回は第33版の部報となっております。今年度は東医体の主管校を務め、例年とは大きく異なる状況となりました。そんな中、千葉大学医学部が6年ぶりに東医体優勝出来ましたのは、多くの方々に応援して頂いたことはもちろんのこと、OBの先生方のご支援により日頃から充実した練習の機会に恵まれていることの御陰であると感じております。

部員一同、OBの先生方からの厚いご支援に感謝し、これからの練習も一層精進して参りたいと思いますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

千葉大学医学部ヨット部主務 埴 夕稀子-